



【令和6年度予算額 593百万円（850百万円）】

配送需要増加対応、防災性向上、地域資源である再エネの有効活用等を同時解決する地域貢献型脱炭素物流モデルの構築を図ります。

1. 事業目的

- 地域の物流を支える中小型トラックや原動機付自転車等、各用途に応じた車種に対して、バッテリー交換式EV化開発/実証支援を行い、地域エネルギーのストレージインフラとして物流・配送拠点等をバッテリーステーション化することで、地域の脱炭素化×防災モデルの構築を目指す。

2. 事業内容

バッテリー交換式EV開発及び再エネ活用の組み合わせによるセクターカップリング実証事業

荷物宅配のラストワンマイル配送等のバッテリー交換式EVの特性を活かせるユースケース毎（中小型トラック等）の開発（汎用性の高いバッテリーパック及びバッテリー運用管理システムの開発を含む）を支援するとともにモデルの実証事業を実施（継続事業のみ）。

3. 事業スキーム

- | | |
|--------|-------------|
| ■ 事業形態 | 委託事業 |
| ■ 委託先 | 民間事業者・団体 |
| ■ 実施期間 | 令和2年度～令和6年度 |

4. 事業イメージ

